

「本気でチャレンジ みんなで笑顔」

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から

4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。今年度の「教科に関する調査」は、国語・算数・理科の3教科で実施されました。「質問紙調査」は、生活習慣や学習状況などに関する質問があり、オンラインで回答しました。

学校では、調査結果を分析・考察し、授業改善を進めるとともに、教育活動がより効果的なものとなるよう生かしていきます。御家庭でも、子どもたちの力を共に伸ばしていけるよう御協力をお願いいたします。

Ⅰ 教科に関する調査結果

国語・算数の正答率を県平均、全国平均と比較し、設問による得意不得意を分析しました。下記の報告はあくまでも平均値をもとにした評価です。お子さんの結果はそれぞれ個票で御確認ください。

(1) 【国語】  ※表の見方 ◎…正答率が平均を上回っている ○…正答率が平均とほぼ同等 △…正答率が平均を下回っている

	教科全体	言葉の特徴や 使い方等	情報の扱い方	我が国の 言語文化	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
全国	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎
県	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎

国語では、多くの内容で、正答率が県・全国の平均を上回りました。漢字の読み書きをはじめ、言葉の意味や違いを捉えたり、聞いたことを書き表したりするなど、国語の基礎となる力が身につけていることが分かりました。また、書かれている内容を正しく読むために、文章の構成や筆者の意図に着目すること、条件に合わせて適切に書くこと、相手に伝わるように書き表し方を工夫したりすることなどの、思考力、判断力、表現力も身につけてきていると言えます。その一方で、「話すこと・聞くこと」については、課題が見えました。相手の話の中から自分が知りたい情報を整理して捉えたり、相手の話を聞いて自分の考えと比較してまとめたりすることに苦手さが見られました。「話すこと・聞くこと」は、学習・生活のどちらにおいても最も身近で重要なコミュニケーションの力となります。会話をこえた対話をとおして深い学びができるよう、学校でも授業の中で意識していきたいところです。

(2) 【算数】  表の見方 ◎…正答率が平均を上回っている ○…正答率が平均とほぼ同等 △…正答率が平均を下回っている

	教科全体	数と計算	図形	測定・変化と関係	データの活用
全国	○	△	◎	△	△
県	○	○	◎	△	△

算数では、全体としては、県・全国の平均とほぼ同等の正答率となりました。内容を見ていくと、「図形」に関する問題での正答率は高く、図形の性質や図形の面積の求め方の理解ができていることが分かりました。一方、「測定」「変化と関係」「データの活用」の関連する3つの領域の正答率は、平均を大きく下回りました。伴って変わる2つの数量の関係を見出す力や、グラフや表から必要な数値を取り出す力などが不十分であることが考えられます。「新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュできるか」や「10%増量したつめかえ用のハンドソープの量は増量前の何倍か」など、普段の生活場面を想定した問題でしたが、具体的にどれくらいかを求めることが難しかったようです。示されている数値のみに着目するのではなく、普段から具体的にどれくらい使えるのか、どの程度お得なのかを立ち止まって考え、生活の中で算数の見方や考え方を活用する力を付けていくことが大切です。

(3) 【理科】



表の見方 ◎…正答率が平均を上回っている ○…正答率が平均とほぼ同等 △…正答率が平均を下回っている

	教科全体	エネルギー	粒子	生命	地球
全国	◎	○	○	○	○
県	◎	○	○	◎	◎

理科では、全体としては、県・全国の平均を上回る正答率となりました。「生命」「地球」の分野からは、実験の方法を考えたり、それによる結果を予想したりすることが概ねできていることが分かりました。また、「エネルギー」「粒子」の分野からも、温度による水の変化や電気の回路などについての知識が比較的定着していることが見て取れました。理科の授業で大切にしている「実験をとおして確かめること」が、これらの力につながったと考えられます。今後も、机上の学習に留まらず、実験や観察、体験、や経験をもとに子どもたちの科学的な概念を形成していけるよう、授業をすすめていきます。

2 質問紙から見える調査結果

県や全国と比較して、肯定的な評価が大きく上回っている項目を◎として取り上げました。

(1) 自分自身について

◎自分にはよいところがある ◎将来の夢や目標をもっている ◎生活の中で幸せな気持ちになることがよくある

(2) 学習・読書の様子について

◎自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う
◎読書が好きである
◎タブレットなどの ICT 機器で文章やプレゼンを作成したり情報収集したりできる



(3) 人・地域とのかかわりについて

◎学校に行くのは楽しいと思う
◎いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う
◎地域や社会をよくするために何かしてみたい



横地小では、「ふるさと横地を愛し、未来をたくましく生き抜く子ども」の育成をめざし、学校内に留まらず、地域にも学びの場を広げて学習を展開しています。多くの子が、学校が楽しいと思えたり、自分と違う考えを受け入れたりすることができるのは、こうした学校内外でさまざまな方と交流し、視野や見聞を広げているおかげだと思えます。今後も地域に支えていただきながら、小規模校であることのよさを生かした横地の教育を進めていきます。

